



2024年8月7日

各 位

会社名 豊トラスティ証券株式会社
代表者名 代表取締役社長 安成 政文
(コード番号：8747、東証スタンダード市場)
問合せ先 専務取締役管理本部長 多々良 孝之
(TEL.03 - 3667 - 5211)

2025年3月期第1四半期累計期間の連結業績見通しに関するお知らせ

2025年3月期第1四半期累計期間(2024年4月1日から2024年6月30日まで)の連結業績につきましては現在集計中ですが、決算の概要がまとまりましたので速報値としてお知らせいたしますとともに、前年同期実績と比較して差異が生じる見込みですので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2025年3月期第1四半期累計期間の業績速報値及び業績の差異

連結

(単位：百万円)

	営業収益	純営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益
当第1四半期連結累計期間速報値 (2025年3月期第1四半期累計期間) (A)	2,827	2,822	1,214	1,252	768
前年同期実績 (2024年3月期第1四半期累計期間) (B)	1,614	1,610	327	370	242
増減額 (A-B)	1,213	1,211	886	882	526
増減率 (%)	75.2	75.2	270.6	238.2	217.5
(参考) 2024年3月期実績	7,402	7,386	1,994	2,098	1,430

2. 差異が生じた理由

連結業績見込み

2025年3月期第1四半期累計期間における我が国経済は、消費活動の回復や企業活動の活発化が見られる中、6月の日銀短観にて発表された業況判断指数(DI)は、大企業製造業においては部材不足の緩和や価格転嫁の進展を受けて、2四半期ぶりに改善しました。大企業非製造業においても消費関連業種の景況感が高水準を維持しております。先行きの経済は、好調な企業収益による賃上げや設備投資の拡大を背景に、個人消費が持ち直し、内需主導で緩やかに回復する見通しであります。

米国では個人消費が底堅く推移する中において、6月の米国供給管理協会(ISM)景況感指数は製造業、非製造業ともに良し悪しの分かれ目となる50を下回る水準にあり、企業マインドが悪化しております。中国では年明けに持ち直した景気が再び減速し、国内需要の低迷が続いており、個人消費は一時的に強含む場面があるものの基調としては弱く、投資も低迷しております。先行きは米国においては金融環境の引き締めなどを背景に実質GDP成長率は潜在成長率を下回る見通しであるものの、インフレ率の低下と利下げが景気を後押しし、成長率は緩やかに回復すると予想され、中国においては消費や投資の低迷が続く、景気はさらに減速する見通しであります。

このような環境のもとで、当社グループの当第1四半期連結累計期間の商品デリバティブ取引の総売買高440千枚(前年同期比68.3%増)及び金融商品取引の総売買高738千枚(前年同期比5.9%減)となり、受入手数料2,809百万円(前年同期比76.1%増)、トレーディング損益25百万円の損失(前年同期は5百万円の利益)となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は営業収益2,827百万円(前年同期比75.2%増)、純営業収益2,822百万円(前年同期比75.2%増)、経常利益1,252百万円(前年同期比238.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益768百万円(前年同期比217.5%増)を計上する見込みであります。

以上